



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL <http://www.hds.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上條 和俊 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,511	72.2	3,034	48.9	3,046	46.3	1,785	30.9
29年3月期第1四半期	7,264	0.7	2,037	△8.6	2,082	△16.0	1,364	△17.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4,847百万円(540.0%) 29年3月期第1四半期 757百万円(55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.49	—
29年3月期第1四半期	14.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	93,509	61,229	62.9
29年3月期	87,734	57,400	62.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 58,815百万円 29年3月期 55,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,800	63.6	5,900	48.3	5,900	41.7	3,400	23.5	37.12
通期	49,500	64.6	12,000	53.6	12,000	50.8	7,300	△63.0	79.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	94,749,300株	29年3月期	94,749,300株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,152,193株	29年3月期	3,152,193株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	91,597,107株	29年3月期1Q	91,597,107株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）における当社グループの事業環境は、国内景気の回復に加え、世界景気も堅調に推移し、製造業における生産性向上や省力化などを目的とした設備投資が増加したことから、総じて良好に推移しました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが大幅に増加したことに加え、メモリーやセンサー、画像処理半導体などの半導体製造装置向け、4Kや8Kと呼ばれる高精細の液晶パネルや有機ELパネルなどのフラットパネルディスプレイ製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどをはじめ主要用途全般が増加しました。また、平成29年3月に持分法適用会社であったドイツ国のハーモニック・ドライブ・アーゲーを買収し子会社化したことにより、当第1四半期連結累計期間から同社の売上高が当社グループの連結売上高として計上されたことも増収の要因となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比72.2%増加の125億11百万円となりました。

損益面につきましては、今後の需要増加を見据え、生産能力増強投資を実施したことにより減価償却費が増加したことに加え、ハーモニック・ドライブ・アーゲーを買収したことに伴い生じたのれんの償却費が新たに計上されましたが、売上高の増加による増益効果が上回り、営業利益は前年同期比48.9%増加の30億34百万円となりました。また、経常利益は借入金の増加により支払利息は増加したものの、為替が円安に転じたことから為替差益を計上したことなどにより、前年同期比46.3%増加の30億46百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比30.9%増加の17億85百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比76.4%増加の102億7百万円、メカトロニクス製品が同55.9%増加の23億4百万円で、売上高比率はそれぞれ、81.6%、18.4%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

産業用ロボット向けを中心にフラットパネルディスプレイ製造装置向け、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどの主要用途全般が増加し、売上高は前年同期比29.5%増加の79億16百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は前年同期比19.7%増加の27億71百万円となりました。

(北米)

医療機器向け、半導体製造装置向け、工作機械向けを中心に需要が増加したことにより、売上高は前年同期比12.8%増加の13億1百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、前年同期比15.5%増加の2億21百万円となりました。

(欧州)

主に産業用ロボット向け、半導体製造装置向けの需要が増加したことなどから良好な事業環境となりました。また、持分法適用会社であったハーモニック・ドライブ・アーゲーを子会社化した影響により、売上高は32億94百万円、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比490.7%増加の4億81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18億12百万円増加（前連結会計年度末比6.5%増）し、295億49百万円となりました。これは、売上高の増加により、受取手形及び売掛金が20億40百万円増加（前連結会計年度末比18.9%増）したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて39億62百万円増加（前連結会計年度末比6.6%増）し、639億60百万円となりました。これは、外貨建のれんの期末換算により、のれんが18億31百万円増加（前連結会計年度末比5.5%増）したことに加え、保有する関係会社株式の時価が上昇したことによって、投資その他の資産が11億71百万円増加（前連結会計年度末比9.9%増）したことが主な要因です。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて57億75百万円増加（前連結会計年度末比6.6%増）し、935億9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16億40百万円増加（前連結会計年度末比7.0%増）し、249億24百万円となりました。これは、未払法人税等が6億50百万円減少（前連結会計年度末比40.6%減）したものの、その他流動負債が25億95百万円増加（前連結会計年度末比110.2%増）したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3億5百万円増加（前連結会計年度末比4.3%増）し、73億55百万円となりました。これは、繰延税金負債が3億95百万円増加（前連結会計年度末比14.9%増）したことが主な要因です。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて19億46百万円増加（前連結会計年度末比6.4%増）し、322億80百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて38億29百万円増加（前連結会計年度末比6.7%増）し、612億29百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が21億79百万円増加したことに加え、利益剰余金が8億69百万円増加（前連結会計年度末比1.9%増）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.7%から62.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表しました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値に変更はありません。今後、変更が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,039,904	11,643,146
受取手形及び売掛金	10,813,395	12,854,358
有価証券	56,856	57,910
商品及び製品	682,988	633,209
仕掛品	1,552,776	1,815,531
原材料及び貯蔵品	1,492,515	1,624,338
その他	1,112,025	934,651
貸倒引当金	△13,712	△13,440
流動資産合計	27,736,750	29,549,706
固定資産		
有形固定資産	14,644,599	15,616,932
無形固定資産		
のれん	33,338,073	35,169,420
その他	231,296	219,064
無形固定資産合計	33,569,369	35,388,484
投資その他の資産		
投資有価証券	668,699	743,141
関係会社株式	9,775,564	10,813,682
退職給付に係る資産	933,968	939,386
繰延税金資産	244,516	298,477
その他	166,578	165,685
貸倒引当金	△5,600	△5,600
投資その他の資産合計	11,783,726	12,954,773
固定資産合計	59,997,695	63,960,189
資産合計	87,734,445	93,509,896
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,673,078	2,990,880
短期借入金	15,025,509	15,024,566
1年内返済予定の長期借入金	191,448	191,074
未払法人税等	1,599,892	949,747
賞与引当金	1,040,106	553,136
役員賞与引当金	297,393	159,966
製品補償損失引当金	99,978	103,002
その他	2,356,668	4,952,567
流動負債合計	23,284,075	24,924,941
固定負債		
長期借入金	449,270	401,782
繰延税金負債	2,651,636	3,047,042
役員退職慰労引当金	1,118,900	1,104,037
その他の引当金	73,188	78,235
退職給付に係る負債	75,978	78,919
その他	2,681,103	2,645,639
固定負債合計	7,050,078	7,355,655
負債合計	30,334,153	32,280,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,610,542	1,610,542
資本剰余金	5,203,709	5,203,709
利益剰余金	45,884,068	46,753,343
自己株式	△2,305,055	△2,305,055
株主資本合計	50,393,265	51,262,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,267,904	6,034,431
為替換算調整勘定	△611,107	1,568,512
退職給付に係る調整累計額	△49,523	△50,146
その他の包括利益累計額合計	4,607,272	7,552,797
非支配株主持分	2,399,753	2,413,961
純資産合計	57,400,291	61,229,298
負債純資産合計	87,734,445	93,509,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,264,884	12,511,900
売上原価	3,747,019	6,609,699
売上総利益	3,517,865	5,902,200
販売費及び一般管理費	1,480,145	2,867,708
営業利益	2,037,719	3,034,492
営業外収益		
受取利息	2,272	4,144
受取配当金	767	995
持分法による投資利益	85,232	9,643
為替差益	—	9,976
その他	13,298	39,446
営業外収益合計	101,570	64,208
営業外費用		
支払利息	2,270	11,360
売上割引	168	12,708
為替差損	41,795	—
その他	12,476	27,649
営業外費用合計	56,712	51,718
経常利益	2,082,578	3,046,981
特別利益		
固定資産売却益	9	1,354
補助金収入	—	100,000
特別利益合計	9	101,354
特別損失		
固定資産除却損	3,081	2,090
役員退職特別加算金	29,280	—
固定資産圧縮損	—	100,000
特別損失合計	32,361	102,090
税金等調整前四半期純利益	2,050,226	3,046,246
法人税、住民税及び事業税	447,124	866,357
法人税等調整額	189,889	207,359
法人税等合計	637,013	1,073,717
四半期純利益	1,413,213	1,972,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,869	187,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,364,343	1,785,245

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,413,213	1,972,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272,632	766,527
為替換算調整勘定	△304,777	2,108,562
退職給付に係る調整額	△14,535	△194
持分法適用会社に対する持分相当額	△63,835	—
その他の包括利益合計	△655,780	2,874,896
四半期包括利益	757,433	4,847,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	600,509	4,730,770
非支配株主に係る四半期包括利益	156,923	116,654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,111,331	1,153,553	—	7,264,884	—	7,264,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	245,755	—	—	245,755	△245,755	—
計	6,357,086	1,153,553	—	7,510,640	△245,755	7,264,884
セグメント利益	2,315,994	191,496	81,462	2,588,953	△506,375	2,082,578

- (注) 1. セグメント利益の調整額△506,375千円には、セグメント間取引消去△233,973千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272,401千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州向け（欧州セグメントを構成する持分法適用会社向け）、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用会社で構成されているため、当該セグメント利益は、持分法投資利益を記載しております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,916,388	1,301,264	3,294,247	12,511,900	—	12,511,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	922,878	6,079	14,114	943,072	△943,072	—
計	8,839,266	1,307,344	3,308,361	13,454,973	△943,072	12,511,900
セグメント利益	2,771,969	221,114	481,203	3,474,286	△427,304	3,046,981

- (注) 1. セグメント利益の調整額△427,304千円には、セグメント間取引消去△293,385千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,919千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用会社で構成されておりましたハーモニック・ドライブ・アーゲーが、平成29年3月22日付で連結子会社となったため、当第1四半期連結累計期間から同社に係る売上高及び利益を記載しております。
4. 欧州セグメントのセグメント利益は、ハーモニック・ドライブ・アーゲーの株式取得による、のれんの償却額△425,075千円を控除しております。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	7,544,017	44.4
	メカトロニクス製品	1,334,505	14.7
北米	減速装置	592,398	15.5
	メカトロニクス製品	258,027	△7.8
欧州	減速装置	2,045,957	—
	メカトロニクス製品	781,868	—
合 計		12,556,774	74.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。当連結会計年度より欧州セグメント実績を追加しているため、前年同期との比較は表示しておりません。
 4 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	13,110,373	150.7	14,894,921	318.5
	メカトロニクス製品	1,412,361	37.8	1,456,318	135.3
北米	減速装置	918,700	8.0	1,183,445	12.2
	メカトロニクス製品	788,541	74.8	736,682	62.2
欧州	減速装置	2,904,534	—	2,567,049	—
	メカトロニクス製品	831,980	—	721,140	—
合 計		19,966,491	164.2	21,559,556	279.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。当連結会計年度より欧州セグメント実績を追加しているため、前年同期との比較は表示しておりません。
 4 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高（千円）	前年同期比（%）
日本	減速装置	7,019,341	37.8
	メカトロニクス製品	961,010	△5.6
北米	減速装置	782,472	12.9
	メカトロニクス製品	524,871	14.0
欧州	減速装置	2,405,785	—
	メカトロニクス製品	818,419	—
合 計		12,511,900	72.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第1四半期連結累計期間	
	販売高（千円）	割合（%）
株式会社羽根田商会	1,362,483	10.9

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4 当社グループの報告セグメントは、所在地別（日本、北米、欧州）に区分しております。当連結会計年度より欧州セグメント実績を追加しているため、前年同期との比較は表示しておりません。
 5 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 6 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,294,247	1,301,264	1,506,963	6,102,475
II 連結売上高(千円)	—	—	—	12,511,900
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	26.3	10.4	12.0	48.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 欧州……ドイツ
 (2) 北米……米国
 (3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。